

2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 舛田正一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理本部長（氏名） 三島まりこ (TEL) 096-370-0004  
 半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	3,880	9.1	△39	—	△33	—	△32	—
2024年6月期中間期	3,556	10.5	11	△5.8	17	△42.0	3	△79.6

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 百万円(%) 2024年6月期中間期 3百万円(△96.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	△8.09	—
2024年6月期中間期	0.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	2,729	509	18.7
2024年6月期	2,717	544	20.0

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 509百万円 2024年6月期 544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年6月期	—	0.00			
2025年6月期(予想)			—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,600	8.8	110	29.6	110	10.4	70	145.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	5,076,000株	2024年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	981,100株	2024年6月期	1,018,600株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	4,068,296株	2024年6月期中間期	4,051,165株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年7月1日から2024年12月31日まで)におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢を背景とした資源価格の高騰や、金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、当期より新たにスタートした中期経営計画に掲げる「新体制によるグループ収益力強化と、サステナビリティ経営の推進により企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として、「経営基盤の強化」「各事業の売上拡大(グループ収益力の強化)」「サステナビリティ経営の推進と企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、3,880,857千円(前年同期比9.1%増)、営業損失は、39,162千円(前年同期は11,508千円の利益)、経常損失は33,507千円(前年同期は17,189千円の利益)、親会社株主に帰属する中間純損失は、32,900千円(前年同期は3,603千円の利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,987,030千円(前年同期比8.3%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2024年7月から2024年11月までの売上高は増加、取扱件数は横ばいで推移し、葬儀単価は持ち直し傾向で推移しています。

このように、引き続き葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売等を実施してまいりましたが、原材料費や人件費高騰等の影響により、営業利益は95,758千円(前年同期比27.0%減)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当中間連結会計期間におきましては、期の中盤には一時的に単価が平年並みとなったものの、期の前半での気温上昇による入荷量の減少等の影響が、後半においても続いたことによって販売単価が高騰したことに加え、後半では輸出品取扱量が増加したこと等を受け、売上高は1,427,196千円(前年同期比10.9%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2024年12月)によると、2024年7月から2024年12月までの切花累計の取扱金額は33,544百万円(前年同期比1.5%増)、数量では375百万本(前年同期比3.7%減)と1本あたりの単価は高止まり傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施した結果、営業利益は41,593千円(前年同期比54.6%増)となりました。

#### (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、1件あたりの単価が回復(上昇)傾向にあったため、175,526千円(前年同期比5.2%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業では関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深掘りによる受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大に取り組んでまいりましたが、原価や人件費高騰の影響を受け、営業損失は9,535千円(前年同期比は9,471千円の利益)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業、レストラン事業を行っております。当中間連結会計期間においては、システム開発事業においてインボイス対応の特需があった前期との比較では減少した一方で、新たにレストラン事業が加わったこと等により、売上高は291,103千円(前年同期比9.0%増)、利益面では農業部門において連作障害が発生した影響等により営業損失は38,240千円(前年同期は5,914千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,462千円増加し、2,729,350千円となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ46,054千円増加し、2,219,832千円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ34,592千円減少し、509,517千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の業績予想につきましては、2024年8月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,071,375	785,247
売掛金	573,063	848,175
商品	33,935	19,935
仕掛品	3,387	3,104
原材料及び貯蔵品	33,306	66,498
その他	94,497	72,194
貸倒引当金	△10,337	△10,429
流動資産合計	1,799,228	1,784,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	699,167	737,106
減価償却累計額	△360,664	△386,987
建物及び構築物(純額)	338,503	350,118
車両運搬具	11,726	21,079
減価償却累計額	△10,648	△19,101
車両運搬具(純額)	1,078	1,977
工具、器具及び備品	152,374	159,075
減価償却累計額	△142,063	△148,531
工具、器具及び備品(純額)	10,310	10,544
土地	228,914	239,998
建設仮勘定	1,278	-
その他	15,880	16,721
減価償却累計額	△13,161	△13,395
その他(純額)	2,718	3,325
有形固定資産合計	582,803	605,965
無形固定資産		
ソフトウェア	50,003	42,525
のれん	5,005	4,171
無形固定資産合計	55,009	46,697
投資その他の資産		
差入保証金	54,607	57,890
繰延税金資産	12,231	8,449
保険積立金	190,862	191,656
破産更生債権等	12,857	15,378
その他	23,207	23,624
貸倒引当金	△12,920	△15,378
投資その他の資産合計	280,845	281,620
固定資産合計	918,658	934,282
繰延資産		
開業費	-	10,340
繰延資産合計	-	10,340
資産合計	2,717,887	2,729,350

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	179,675	392,149
短期借入金	470,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	187,398	202,378
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	78,342	73,432
未払法人税等	54,234	7,907
未払費用	114,185	102,434
賞与引当金	210	12,835
資産除去債務	10,000	10,000
その他	168,376	129,394
流動負債合計	1,282,422	1,350,531
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	701,946	693,407
リース債務	43,683	38,177
退職給付に係る負債	67,219	69,209
資産除去債務	18,505	18,505
固定負債合計	891,355	869,300
負債合計	2,173,777	2,219,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	152,407	158,625
利益剰余金	405,282	356,152
自己株式	△226,874	△218,522
株主資本合計	544,055	509,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	22
その他の包括利益累計額合計	54	22
純資産合計	544,109	509,517
負債純資産合計	2,717,887	2,729,350

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,556,099	3,880,857
売上原価	3,102,607	3,428,239
売上総利益	453,491	452,617
販売費及び一般管理費	441,983	491,780
営業利益又は営業損失(△)	11,508	△39,162
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	103
為替差益	3,007	3,218
受取賃貸料	787	677
補助金収入	3,416	1,932
その他	3,824	7,620
営業外収益合計	11,061	13,552
営業外費用		
支払利息	4,873	7,399
その他	506	498
営業外費用合計	5,380	7,897
経常利益又は経常損失(△)	17,189	△33,507
特別利益		
固定資産売却益	348	-
負ののれん発生益	-	15,918
特別利益合計	348	15,918
特別損失		
リース解約損	102	-
特別損失合計	102	-
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	17,435	△17,588
法人税、住民税及び事業税	13,832	11,529
法人税等調整額	0	3,782
法人税等合計	13,832	15,311
中間純利益又は中間純損失(△)	3,603	△32,900
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	3,603	△32,900

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	3,603	△32,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	△32
その他の包括利益合計	52	△32
中間包括利益	3,655	△32,932
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,655	△32,932

## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月27日 定時株主総会	普通株式	36,445	9.00	2023年6月30日	2023年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年9月25日 定時株主総会	普通株式	16,229	4.00	2024年6月30日	2024年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,834,620	1,287,455	166,887	3,288,962	267,136	—	3,556,099
外部顧客への売上高	1,834,620	1,287,455	166,887	3,288,962	267,136	—	3,556,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,559	539,264	1,058	543,883	16,842	△560,725	—
計	1,838,179	1,826,720	167,945	3,832,845	283,979	△560,725	3,556,099
セグメント利益	131,220	26,898	9,471	167,589	5,914	△161,995	11,508

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△161,995千円には、セグメント間取引消去29,078千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,074千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,987,030	1,427,196	175,526	3,589,753	291,103	—	3,880,857
外部顧客への売上高	1,987,030	1,427,196	175,526	3,589,753	291,103	—	3,880,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,782	614,210	1,470	619,463	6,020	△625,484	—
計	1,990,812	2,041,406	176,997	4,209,217	297,124	△625,484	3,880,857
セグメント利益又は 損失(△)	95,758	41,593	△9,535	127,817	△38,240	△128,739	△39,162

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業、農業並びに飲食事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△128,739千円には、セグメント間取引消去△15,442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。